

いのちの授業【1年道徳】学習指導案

指導者 S

1、本時の指導

(1) 主題名 強い意志 1 - (2)

(2) ねらい かけがえのない命の尊さを自覚し、人間としての誇りを持って、力強く生きようとする心情を育てる。

(3) 指導過程

段階	生徒の活動	主な発問 と指示	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	気づく 1、星野富弘さんの作品を見て説明を聞く。	絵を見て、どんな人が描いたのか想像してみましょう。	・知っている生徒がいれば発表させる。	・その絵がどのような状態で描かれたのかを説明し、資料への導入とする。(口で絵を描いていることを知らせ資料の前半を読む。)
展開 35分	捉える 2、資料を読んで内容をつかむ。 3、作品が人々に与えた感動と作者の心の強さ、更に作者の強く生きようとする意志について考える。 見つめる	印象に残った部分に線を引きながら、資料を読みましょう。 心に残ったことを発表しましょう。 展覧会で絵を見た人たちは、どんなことに感動したのでしょうか。 星野さんがこのような過酷な障害に負けず、がんばれたのはなぜでしょう。 皆さんも、口にペンをくわえて文字や絵を描いてみましょう。 自分がそのような状況になったらどうするでしょうか。	・口で絵を描いたこと ・絵がとても上手だったこと ・首から下が不自由でもそれに負けない星野さんの生き方 ・家族の愛情 ・花も懸命に生きていることに気づいたから ・自分の命を大切にしようとしたから	・生命の尊さの自覚に基づき、自分の持てる力をすべて使って生き抜こうとしている生き方に着目させたい。 ・口で描いたことへの驚きや同情ではなく、作品に表れている作者の心の強さに気づかせたい。 《補助発問》 「展覧会を見た人たちは、口で描いた割に意外にも絵が上手だったことで感動しているのでしょうか」 ・家族や周囲の温かい支えと自分自身の障害に負けず生きようとする強い意志の両面に気づかせたい。また、花に寄せる作者の気持ちにも触れさせたい。 《補助発問》 「花などの小さい植物の絵が多いのはなぜだろう」(資料に紹介されている作品に触れる) ・ネームカードを活用し、自分の考えを明示させながら考えを深めさせたい。
終末 10分	高め 4、口で絵を描いている様子や障害に負けず強く生き抜こうとする星野さんのビデオを視聴する。	星野さんの映像をみてみましょう。		・星野さんのビデオを視聴することにより、人間としての誇りを持ち、力強く生きようとする意欲を高める。